

令和元年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・昨年度は全学年が目標値を下回っていたが、今年度は2学年が目標値を上回った。これは、こまめに小テストを行い、それを基にして個に対応した指導を行った成果が表れたと考えられる。特に、観点別では知識理解が目標値を上回ったが、数学特有の言葉の意味を丁寧に教えた成果も表れた。
- ・全体的に昨年度よりもポイントは上がっているので、取り組みの成果は表れている。

(2) 課題

- ・数学への関心・意欲・態度の数値が低いので向上を目指す。特に第一学年は目標値よりも大きく下回っているため、より一層関心・意欲・態度を引き出すための工夫が必要である。
- ・各学年の結果を観点別に見ると、第一学年は関心・意欲・態度の次に技能が低い。第二学年は関心・意欲・態度の次に思考・判断・表現が低い。第三学年は思考・判断・表現の次に関心・意欲・態度が低い。学年ごとに取り組むべき課題が異なるので、学年ごとに優先して改善する内容を設定する必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和元年度結果	平成30年度結果	平成29年度結果
第1学年	目標値を下回っている	/	/
第2学年	目標値を若干上回っている	目標値を若干下回っている	/
第3学年	目標値を若干下回っている	目標値を若干下回っている	目標値を若干下回っている

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を下回っている	目標値を下回っている	目標値を下回っている	目標値を下回っている

② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を若干下回っている	目標値を若干下回っている	目標値とほぼ同等である	目標値を若干上回っている

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を下回っている	目標値を下回っている	目標値とほぼ同等である	目標値を若干下回っている

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を身の回りのものと関連づけて、関心・意欲を高める。 ・こまめに課題を提示し、取り組みの様子を見ることで、得意・不得意に関わらず評価されることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の解答が考えられる課題を提示し、多様なアプローチを考えさせる。 ・ペアワークやグループワークを通して、自分の考えをまとめて表現する力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本的な計算学習を繰り返し行う。 ・教科書には載っていないパターンの問題を解く機会を与える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最初に既習の単語を確認する時間を設ける。 ・定期的に小テストやプリント学習を行い、復習できるようにする。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・小テストなどで勉強した成果が目に見えるようにし、達成感を味わわせる。 ・関心・意欲向上のために ICT を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力を問う小テスト（証明問題等）を行う。 ・ペアやグループで問題に取り組む課題を作る。 ・教科書に準拠した副教材を予習復習に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに小テストを行い、習熟状況を把握し個に応じた指導を行う。 ・教科書に準拠した副教材を予習復習に役立てる。 ・長期休業中の課題として、技能のスキルを上げる副教材を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の新しい用語が出てきたら、その意味や使われ方も含めて丁寧に教える。 ・小テストを行い振り返りができるようにする。 ・教科書に準拠した副教材を予習復習に役立てる。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的かつ対話的に学習に取り組めるように教材や課題の出し方を工夫する。協同学習、レポート学習など。 ・生活の中の身近な事柄を数学的に取り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考・判断・表現を問うことのうち基礎的なものは小テストで練習をする。 ・レポート形式で自分の考えをまとめられる教材を開発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストをこまめに行う。 ・小テストの予告を丁寧に行い、事前の家庭学習を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で用語をしつかり確認する。計算方法の確認も随時行う。